

令和4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	文化財保護事業	担当課	生涯学習課	
総合計画 政策	ひと	計画期間	昭和52年度～	
施策	生涯学習の推進	種別	法定事務	
基本事業(取組)	歴史・文化資産の継承	市民協働	その他	
予算科目コード	01-100402-02 単独	根拠法令・条例等	文化財保護法 守谷市文化財保護条例	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	文化財保護法第190条に基づき、昭和52年に守谷市文化財保護条例を制定し、先人からの優れた遺産である文化財を適切に保護・活用し、未来に伝えていくこととした。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	市内に存在する有形無形の文化財を保護し、未来に伝えていくとともに、文化財愛護や郷土理解の心を育む。
（参考）基本事業の目指す姿	地域の貴重な文化財を後世に継承し、活用する。

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的な内容とスケジュール
市民（特に若者）に郷土の歴史・文化を広める必要がある。 市指定文化財及び史跡を保護・保存していく必要がある。	<p>随時 試掘・発掘調査、指定文化財説明板の修繕・更新</p> <p>5月 文化財保護審議会</p> <p>7月 文化財保護審議員自主研修会（コロナのため中止）</p> <p>7月 県指導員による訪問指導</p> <p>7月～10月 廿三夜尊エノキ樹勢回復業務（全2回）</p> <p>11月 文化財保護強化週間にちなんだイベント開催</p> <p>11月 審議会委員への事業（中間）報告</p> <p>3月 文化財保護審議会</p> <p>通年 文化財台帳の管理 デジタルアーカイブコンテンツの選定</p>
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
デジタルアーカイブシステムにより歴史・文化財を知る機会を提供するほか、文化財巡りや郷土検定の実施など、子どもから大人まで楽しみながら郷土の歴史・文化に关心を持てるような取組を行う。 指定文化財の巡視や県指導員による訪問指導により保護・保存状況を把握する。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	既存のデジタルアーカイブをリニューアルして、歴史・文化資料に加えて、文化財を公開できるようシステム改修を行う。

R03年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R04年度の振り返り）	
R03年度の評価（課題）	R04年度の取組（評価、課題への対応）
市指定文化財の中で、八坂神社の祇園祭、守谷城址の認知度は高いが、その他の文化財を知る機会が少ない。	デジタルアーカイブシステムを活用し、歴史・文化資料及び文化財を公開するため、資料選択を行った。 茨城県天心記念五浦美術館において開催された、斎藤隆三氏（1875～1961・本市出身の歴史家）の企画展会期中に、当該美術館学芸員を招き、もりりん中央（中央公民館）を会場に、市民向けのギャラリートークを行った。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（R02）	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	目標値（R08）
市内の指定文化財件数（有形）（件）	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	21.00
市内の指定文化財件数（無形）（件）	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
成果の動向（→その理由）							
<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	指定文化財所有者及び管理者の協力により適切に保存された。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	<p>新たにデジタルミュージアムを構築し、歴史・文化財を知る機会を提供するほか、地域の魅力発見につながる文化財巡りや郷土検定の実施など、子どもから大人まで楽しみながら郷土の歴史・文化に関心を持てるような取組を行う。</p> <p>令和5年度は、デジタルミュージアムの公開に向けて、作成業務を委託し、コンテンツ収集、埋蔵文化財の撮影等を行う経費が掛かる。（令和6年4月公開予定）</p>					

コストの推移						
項目	R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	R06年度見込	
事業費	計	709	3,958	639	7,969	5,000
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	4,816	0
	一般財源	709	3,958	639	3,153	5,000
正職員人工数（時間数）	975.00	811.00	496.00	0.00	0.00	
正職員人件費	3,947	3,138	1,913	0	0	
トータルコスト	4,656	7,096	2,552	7,969	5,000	